

第7章 計画の推進体制

計画の推進には、町民一人ひとりの責任で自らの健康を管理し、改善していく意識づけが重要ですが、健康は個人だけで達成されるものではなく、地域社会と環境づくりによる支援をもって確保されていくものでもあります。

そのため、家庭や地域、保健・福祉・医療・教育関係団体、企業やボランティア団体等と行政とが連携を強化しながら、それぞれの役割と責任を果たすことで健康づくりを実践する個人を支えます。

1 健康づくりに関する機関、団体の役割

①職場・企業の役割

職場は従業員の健康管理という面から、青年期・壮年期の健康づくりに重要な役割を担います。そのため、事業者は、健康被害を及ぼさない労働環境の整備をはじめ、こころの健康づくり対策、生活習慣病予防対策など、従業員に対する心と体の健康づくりの取り組みの推進が必要です。

また、行政や医療機関、保険者、産業医等との連携による従業員の健康管理を図ることが重要となります。

企業には、食生活や運動など町民の健康づくりに関する商品やサービスの提供を進めることが求められます。

②医療保険者の役割

健康保険組合などの保険者は、被保険者やその扶養者に対し、医療給付のほか健康の保持増進のための各種サービスを提供します。これまでの一次予防を中心とした保健事業に加え、平成20年から義務付けられた特定健康診査・特定保健指導の実施など、疾病予防や健康の保持増進のための取り組みの充実が期待されます。

また、後期高齢者医療広域連合は、後期高齢者の生活の質の確保を図る観点から、生活習慣病の早期発見や重症化予防のための健康診査等の保健事業を推進します。

③ボランティア団体

町では、食生活改善推進員、健康サポーター、介護予防サポーター、地域サロンの世話人などを通じて、身近できめ細やかな情報の提供を促し、地域の健康づくりを支援します。さらに、地域の健康づくりを担う人材の育成を推進します。

④保健医療機関の役割

町内の医療機関は、疾病の治療や健康診断など地域医療の重要な役割を担っています。行政や関係団体等に対する支援に努めるとともに、疾病の発生予防にも大きな役割を担い、町民の健康づくりのための支援が期待されます。

さらに、保健師活動による地区診断により、地域の実情に合わせた支援を医療機関との連携により推進します。

⑤健康関連団体の役割

町の健康づくりにおいておぐにスポーツクラブ Yui の活動は、乳幼児期からの身体活動に加えて高齢期の介護予防の推進に重要な役割を担っていくことが期待されます。

⑥教育関係機関の役割

幼児期は生活習慣の基礎づくりの重要な時期であり、保育園においては家庭をはじめ地域の健康づくり関連機関と連携し、望ましい生活習慣づくりの推進が求められます。

また、学校は、学童・思春期の多くを過ごす場であり、生活習慣を身につける重要な時期でもあることから、学校における健康教育が大切な役割を果たします。

そのため、学校では、発達に応じた健康な生活習慣形成のための教育を行うことによって、児童生徒が生涯を通じて自分の健康を管理、改善していくための資質や能力の育成を図ることが重要となります。

学校体育施設等の開放などは、住民の健康づくりのための場の提供となります。

⑦地域・家庭の役割

地域では、自分たちが住んでいる地域の健康問題を認識し、それを改善する取り組みを通じて健康な地域づくりを推進していくことが重要です。

家族は、個人の生活の基本単位であり、乳幼児期からの健康的な生活習慣づくりの確立の場であり、心身の休息の場、命の大切さや思いやりを育み健康づくりの大切さを学ぶ重要な働きをする場として位置付けられます。

⑧関係機関の役割

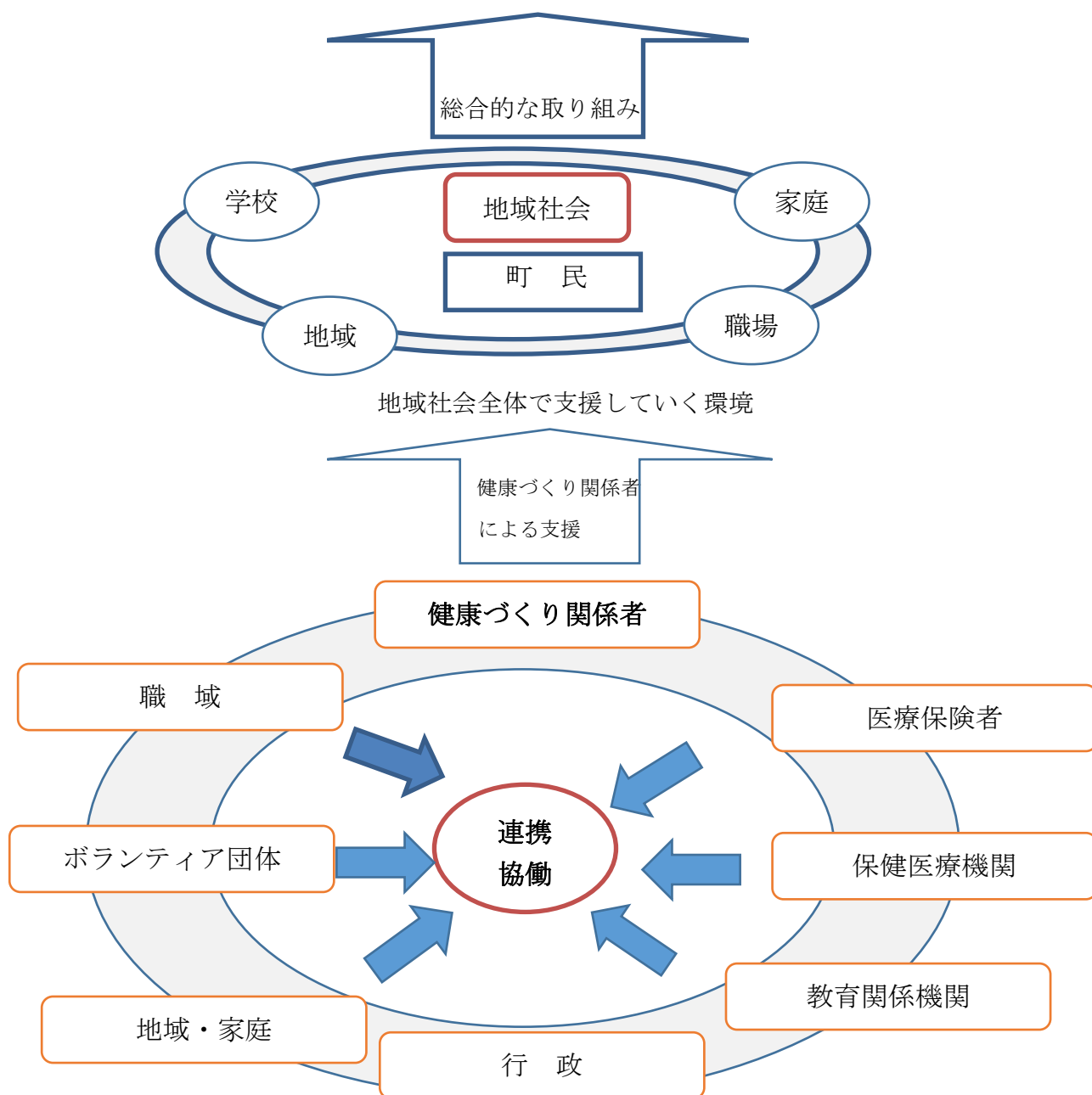
県や保健所等は健康関連情報の収集・提供や地域の健康問題を明らかにするための調査研究を行い、町における健康づくりに対する専門的、技術的支援について連携した取り組みの推進役となります。

2 計画の推進方法

本計画の進捗状況や課題の把握については、定期的に評価・点検を行うこととし、小国町健康づくり推進協議会を通じて推進方法を検討することとします。

健康づくりの推進体制

生涯を健やかで自分らしく暮らせる町の実現



策定の経過

- 6月20日 **第1回策定委員会・策定主任者合同会議**
・第4期健康増進計画策定・自殺対策計画要領について
・計画策定のための調査について
- 8月10日 **第1回健康づくり推進協議会**
・第4期健康増進計画・自殺対策計画策定要領について
・計画策定のための調査について
- 8月～9月 **健康と生活習慣に関する調査**
(対象：20歳～84歳までの町民 1300人)
健康と生活習慣に関する調査
(対象：小国町内の中学生1～3年生 191人)
喫煙対策と健康管理に関する調査
(対象：小国町内で、従業員5人以上の事業所 113事業所)
公共の場における喫煙環境調査
(対象：小国町内で、特に公共の場として不特定多数の人が
出入りすると考えられる施設 46施設)
- 8月23日～9月14日
健康づくり懇談会の開催
(開催団体：町内保育士、地域サロン世話人、養護教諭部
会、食生活改善推進員連絡協議会、おぐにス
ポーツクラブ Yui)
- 12月25日 **第2回策定主任者会議**
・第4期健康増進計画策定・自殺対策計画素案について
- 1月23日 **第2回策定委員会**
・第4期健康増進計画策定・自殺対策計画素案について
- 2月 5日 **第2回健康づくり推進協議会**
・第4期健康増進計画策定・自殺対策計画素案について
- 3月22日 **第3回策定委員会・策定主任者合同会議**
・第4期健康増進計画策定・自殺対策計画案について

1 策定委員会

委員長	山 口 政 幸	(副町長)
職務代理者	遠 藤 啓 司	(教育長)
委 員	阿 部 慎 平	(白い森みらい創生監)
	舟 山 博	(会計管理者)
	阿 部 英 明	(総務企画課長)
	加 藤 康 浩	(町民税務課長)
	齋 藤 勉	(産業振興課長)
	井 上 伊勢男	(観光経済担当課長)
	木 村 広 英	(地域整備課長)
	山 口 英 明	(町立病院事務長)
	渡 辺 仁	(介護老人保健施設事務長)
	仁 科 清 春	(教育振興課長)
	原 田 千鶴子	(おぐに保育園長)
	後 藤 和 人	(議会事務局長)

2 策定主任者会議

委 員	羽 田 淳 哲	(総務企画課財政担当係長)
	渡 部 寿 郎	(総務企画課政策企画担当係長)
	貝 沼 俊 明	(町民税務課国保医療担当係長)
	青 木 伸 幸	(産業振興課観光交流担当主査)
	高 橋 俊 典	(産業振興課移住定住促進担当係長)
	佐 藤 秀 樹	(地域整備課建設管理担当主査)
	益 田 則 幸	(小国町立病院次長)
	木 村 英 和	(教育振興課学校教育担当主査)
	小 池 みどり	(教育振興課スポーツ振興担当係長)
	梅 津 里 美	(おぐに保育園保育係長)

3 健康づくり推進協議会

医療関係者	村 上 武	(歯科医師)
	阿 部 吉 弘	(小国町立病院長)
地域保健関係者	佐 藤 仁	(置賜保健所保健企画課長)
学校保健関係者	今 幸 子	(小国町養護教諭部会長)
	八 木 遥	(小国小学校栄養教諭)
産業保健関係者	木 戸 利 枝	(クアーズテック (株) 小国事業所総務担当)
福祉関係者	伊 藤 征 義	(小国町社会福祉協議会事務局長補佐)
	志 田 やよ江	(保育士)
地区組織関係者	小 嶋 信 子	(小国町食生活改善推進員連絡協議会会長)
学識経験者	藤 田 明 美	(特定非営利法人スポーツクラブ Y u i クラブマネージャー)

4 策定委員会事務局

事務局員	佐藤友春	(健康福祉課長)
	伊藤哲史	(健康福祉課健康長寿推進室長)
	佐藤重美	(健康福祉課福祉政策室長)
	渡部恵子	(健康福祉課地域保健担当主査)
	野本恵利子	(健康福祉課主任保健師)
	井上ひとみ	(健康福祉課主任保健師)
	桐生江梨子	(健康福祉課保健師)
	結城邦拓	(健康福祉課保健師)